

計画の名称	リニア岐阜県駅を核とした地域づくり													
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	中津川市													
計画の目標	リニア岐阜県駅整備に合わせて、アクセス道路や駅前広場、区画道路など公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図る土地区画整理事業の推進により、 リニア岐阜県駅を中心とした広域的な交通ネットワークを形成し、新たな広域交通拠点となる岐阜県の東の玄関口として相応しいまちづくりを行うとともに、 リニア駅部による日影対策、分断される道路の機能確保や地域コミュニティの確保、災害時避難困難区域の解消等、地域の課題を総合的に解決する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,178	A	2,178	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度		令和8年度
1	リニア岐阜県駅から直近のインターチェンジまでのアクセス時間を、都市計画道路整備等により、16.7%短縮させる。（R4年度：6分 から R8年度：5分）			
	リニア岐阜県駅駅前広場から直近インターチェンジまでのアクセス時間の短縮率 （整備前所要時間－評価時点所要時間）／整備前所要時間 ＝ アクセス時間短縮率	0%	%	17%
2	災害時の火災の危険性のある区域において、一定の距離内で適切な福音を有する避難路へ到達できない民地の区域の割合を、道路整備等により 46.3%（R4年度）から 23.1%（R8年度）に減少			
	リニア岐阜県駅周辺地区土地区画整理事業施行区域内の火災時避難困難区域率 施行区域内の火災発生時避難路到達困難区域合計面積／施行区域面積21.6ha ＝ 火災時避難路到達困難区域率	46%	%	23%
3	地域の課題解決により、暮らしやすさ（道路整備等関連）に関する住民満足度を 50%（R4年度）から 70%（R8年度）に増加			
	地域住民に対して土地区画整理事業の将来整備計画に対するアンケート調査を行い、（１）道路整備に対する満足度、（２）駅前広場等リニア岐阜県駅周辺基盤整備の満足度、（３）快適な住環境確保に対する満足度を調査。 （１）＋（２）＋（３）／３ ＝ 道路整備等に関する満足度	50%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	中津川市	直接	中津川市	区画	改築	リニア岐阜県駅周辺地区 （（都）リニア岐阜県駅 停車場線ほか３路線）	施行区域 A=21.6ha	中津川市	■	■	■	■	■	2,178	2.34	-	
												小計						2,178		
												合計						2,178		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	160	258			
計画別流用増 減額 (b)	8	0			
交付額 (c=a+b)	168	258			
前年度からの繰越額 (d)	122	90			
支払済額 (e)	200	160			
翌年度繰越額 (f)	90	188			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					